

テニス競技は平成23年からの九州中学校体育連盟(九州中体連)に競技加盟種目となることが内定しました。したがって、平成21年度より九州中体連の開催要項に合致するように、適宜変更しています。

平成23年から予定されている日本中体連競技加盟申請の審議結果により、さらなる改訂がある可能性もありますが、今年度は暫定的に以下の要項で開催する予定です。関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

第36回全九州中学生テニス選手権大会開催要項(案)

- 1 主催 九州中学テニス連盟 九州テニス協会
- 2 主管 熊本県中学テニス連盟
- 3 後援 九州中学校体育連盟・熊本県教育委員会・熊本県体育協会・熊本県テニス協会
- 4 協賛 (株)ダンロップスポーツ・ヨネックス(株)
- 5 期日 平成22年7月31日(土)開会式・公式練習
8月 1日(日)団体戦・個人戦(シングルス1・2回戦)
8月 2日(月)個人戦(シングルス・ダブルス)
- 6 会場 熊本県民総合運動公園テニスコートC・Dコート(クレー15面)
パードーム熊本(室内砂入り人工芝12面)
- 7 試合種目
①男女団体戦(全国大会予選)
②男女個人戦 シングルス・ダブルス(全国大会予選)
- 8 参加資格及び条件
(ア)平成22年度に九州各県内の中学校に在籍し、九州各県中学テニス連盟もしくは、九州各県テニス協会に所属している中学生。
(イ)各県予選の上位校(選手・組)で、県中学テニス連盟・県テニス協会の推薦を受けた学校・選手(組)。
(ウ)団体戦のメンバー及び個人戦(ダブルス)のパートナーは同一中学校の生徒とする。
(エ)参加者は健康診断を受け、保護者の同意の上参加すること。
※日本体育・学校健康センターの適用外の大会である。大会中の傷病は、応急措置のみ本部で行うが、他については主催者加入の傷害保険の範囲内とする。(ただし適用は選手のみとなる。)
- 9 競技方法
① 団体戦
1 全国中学生テニス選手権大会の九州地域予選を兼ねる。全国大会に準じ、3シングルス・2ダブルスの計5ポイントの学校対抗戦で行う。トーナメント方式とする。
2 チーム編成は監督1名・コーチ1名・選手7名～10名までとする。(監督は出場校に勤務する専任教諭とする。コーチは学校長が委嘱し、県連盟等に登録した者とする。)
※同一対抗戦中に同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。
※全国大会ではコーチは認められていない。
3 試合は男・女とも準決勝のみ8ゲームズプロセットとし、他はすべて1タイブレークセットマッチとする。
4 出場枠:16校
出場資格 各県2校(各県予選の上位校。但し上位校が出場できない場合は順次下位校が出場ができる。)
- ② 個人戦
1 全国中学生テニス選手権大会の九州地域予選を兼ねる。引率者は、保護者または保護者に代わる者も可とする。
2 個人戦は、シングルス・ダブルスのいずれかにしか出場することができない。
3 試合は全国大会出場にかかわるラウンド(男女単:準々決勝・同復:準決勝)のみ8ゲームズプロセットとし、他はすべて1タイブレークセットマッチとする。
4 全国大会出場にかかわる順位戦および九州ランキングに関する順位戦を行う。
5 シングルス出場枠 64名
① 基準枠:各県男女各6名。
② 実績枠:過去3年間の実績で決定する。

男子単	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
基本枠	6	6	6	6	6	6	6	6
実績枠	8	1	0	0	3	3	1	0
出場合計数	14	7	6	6	9	8	7	6

女子単	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
基本枠	6	6	6	6	6	6	6	6
実績枠	6	2	1	1	3	1	2	0
出場数	12	8	7	7	9	7	8	6

- 5 ダブルス出場枠 32組

全県	ダブルス	4組
----	------	----

◎天候等のため試合進行が著しく遅れた場合は、各種短縮システムによって試合を行う場合がある。

10 使用球 ダンロップ・スリクソン(Srixon)

11 参加料

各県でエントリー代を取りまとめ、期日までに大会事務局に郵便書留で送付すること。

① 団体戦 1チーム … 8000円 ② シングルス 1名 … 3000円 ③ ダブルス1組 … 3000円

12 申し込み要領

①申し込み締め切り 平成21年7月1日(水)

②申し込み用紙・参加料は各県予選主管団体もしくは各県テニス協会がとりまとめて、申し込みをおこなうこと。

その際、各県予選の結果もしくは県テニス協会の推薦資料を添付すること。

③送付先 (事務簡素化のため Eメール使用にご協力ください。とりまとめの方は配布済みのエクセルの形式でお願いします。)

坂井アドレス skhnm15@yahoo.co.jp

事務局 〒861-4203 熊本県熊本市城南町隈庄270番地 熊本市立隈庄^{くまのしょう}小学校

TEL 0964-28-2045 FAX 0964-28-2130

④県予選が申込期日まで終了していない場合は九州大会参加予定数を事務局まで報告すること。

⑤本大会の選手選考委員会を、7月17日(土)・18日(日)に開催する。(於熊本)

⑥仮ドロー・日程は九州中学テニス連盟(熊本県中テ連)のWebページに掲載するので、それで確認のこと。

(<http://kumamoto-chuteren.blog.ocn.ne.jp/kyusyu/>)

⑦払い込み後の参加料の払い戻しはしない。

※詳しい相談や連絡は九州中学テニス連盟理事長 坂井誠一郎まで (携帯 090-1515-3771)

13 その他

①服装:テニスウェアとする。(ロゴ規定は別紙規定に従うこと)

②宿泊・選手輸送は各自で手配すること。

③本年度九州地区からの全国大会出場枠は、前年度全国大会の実績により下記の予定。(若干名の補欠を決定しておく。この場合の補欠とは全国大会参加可能な学校・選手(組)である。)

団体戦:男子2校 女子2校

個人戦:男子シングルス4名 同ダブルス3組 女子シングルス6名 同ダブルス2組

④全国大会出場権獲得直後に、全国大会出場申込書を本部に提出することができるように、九州大会参加者は全員必要事項を記入の上、申込書を準備をしておくこと。試合終了後、事務局から全国大会の宿泊案内等の説明を受けること。(全国大会申込期限間近のため、記入漏れのないようにすること。不備の場合は、全国大会出場資格を失うこともある。)

⑤全国大会の選手選考会 8月5日(木)(予定) 於:東京都

⑥本年度全国大会の予定:団体戦 平成22年8月18日(水)団体戦開会式・監督会議)

試合:19日(木)~20日(金)

個人戦 8月21日(土)~24日(火)(21日個人戦開会式午前9時から)

会場: 山口県宇部市

※参考1 練習コートは18日(水)に各校1面1時間割り当てられる。

2 試合方式 団体戦…決勝のみ8ゲームマッチ・他は1セットマッチ

個人戦…すべて3セットマッチ

※中体連加盟のため、各県で中学テニス連盟を組織したり、大会運営を学校職員で行う等の努力を続けた結果、長崎県・大分県も平成23年度から予定される九州中体連競技加盟へ向けて、準備中です。

(現在の各県の状況 沖縄県:平成13年県中体連加盟 熊本県:平成14年県中体連正式加盟

鹿児島県:平成15年県中体連加盟 宮崎県:平成15年県中体連加盟 佐賀県:平成21年準加盟、県大会開催

長崎県:平成22年県大会開催予定 大分県:大分市中体連大会開催)

公式練習コート案内

メインテニス(C/D)コート	クレー 16面	096-389-2870
----------------	---------	--------------

第36回全九州中学生テニス選手権参加申込用紙 (団体戦の部)(男子・女子)

代表・補欠

	学校名 <small>ふりがな</small> (正式名称)	中学校
	<small>ふりがな</small> 監督氏名	<small>ふりがな</small> コーチ氏名
	選 手 名	学 年
1	<small>ふりがな</small>	
2	<small>ふりがな</small>	
3	<small>ふりがな</small>	
4	<small>ふりがな</small>	
5	<small>ふりがな</small>	
6	<small>ふりがな</small>	
7	<small>ふりがな</small>	
8	<small>ふりがな</small>	
9	<small>ふりがな</small>	
10	<small>ふりがな</small>	
主将の選手に○印を付けて下さい。		
上記の者は本校在学生徒であることを認めます 平成 年 月 日 中学校長 職印 敬所在地 〒 _____ 電話番号 _____		

上記の者は()県代表として標記大会に参加することを認めます。

平成 年 月 日

県中学テニス連盟または県テニス協会名 _____

会長 _____ 印 _____

申し合わせ事項

教育活動の一環として、フェアプレーを期待する。

ジュニア選手の試合参加の心得

試合の円滑な運営に協力する。

- 1 試合コートが割り当てられるまでは、本部近くに席をとっていること。
- 2 会場を離れるときは、次の試合の時刻、あるいは日程を本部で確認しておくこと。

容姿

選手はいつもきちんとした、礼儀正しいテニスウェアを着用しなければならない。この規定に違反した場合、プレーを止められることがある。

試合中

- 1 試合中、選手は他からいかなるアドバイスも受けてはならない。またコート外にいる関係者あるいは観客と話し合ってはいけない。
- 2 チーム対抗戦の競技中は、ゲーム終了時のエンド交代の時に限り、プレーヤーは、コート内にいるコーチ（監督・コーチ・登録選手の中の一人）からコーチングを受けることができる。ただし、タイブレーク中のエンド交代時を除く。
- 3 次のような事は、スポーツマンシップに反した行動と見なされる。
 - a かんしゃくを起こすこと。
 - b どなったり、みだらな言葉を口にする事。
 - c ひどい悪口を言うこと。
 - d ラケットを投げたり、何かにラケットをぶつけたりすること。
 - e ボールを投げつけたり、ラケットでたたきつけたりすること。
 - f 相手方をだますこと。
 - g わざとぐずつくこと
 - h 大声を出したり、その他の手段で相手方の気を乱すこと。

以上のような行為は何らかの罰則を受けるか、そのトーナメントを失格することがある。

- 4 第一サーブが明らかにフォールトのとき、わざとネットを越して返球するのは、相手方に対して失礼に当たる。
- 5 ネットタッチ、ノットアップ等の規則違反の行為に対しては、正直に自発的に申し出なければならない。
- 6 サーブを打つ場合は、相手方が用意をしていることを確認しなければならない。（相手方は用意ができていない場合、「ノットレディ」とサーブのレットを主張する権利がある。ただし、そのボールを打つか打とうとしたときは、クレームはつけられない。
- 7 隣り合ったコートで試合が進行しているときには、その他のコートの選手達にも、自分がそうして欲しいと思うと同様の礼儀をつくしなさい。プレーの進行中はそのコートのそばに近づいたり、後方を歩いたりしてはいけない。また、プレーが進行中に自分のボールのことを尋ねたり、隣のコートにボールを返したりしてはいけない。

礼儀

- 1 試合を担当している審判の発言は、最終である。また、審判に対して常に礼をつくすのは当然のことである。
- 2 試合の終了後、その労に対して審判に感謝の意を表し、頭を下げて会釈したり、握手を求めたりすることは常に礼儀正しい行動である。
- 3 選手は相手方に対して礼儀をつくしなさい。よく知らない相手方と対戦する場合は、自己紹介をし、エンドやサーブを決めるトスを自ら申し出なさい。
- 4 相手方にボールを送る場合は、一声かけるなどして確認したうえで、取りやすいボールを心掛けるべきである。また、受け取った側は会釈などにより謝意を表すのは当然である。
- 5 試合が終わったとき、握手をし、相手方が勝ったならば祝福をしてあげなさい。
- 6 試合会場での飲食は、施設の使用マナー等に配慮しておこなうべきである。

時間制限

- 1 エンドチェンジの時間は90秒を越えてはいけない。ポイント間は20秒を越えてはいけない。ただし、20秒については休憩の権利ではなく単なる中断であり、故意に時間いっぱいを使うことは罰則の対象となる。
- 2 セットブレークを適用する。（第1ゲーム終了後は、休憩（90秒）はせず、すぐにエンドチェンジをして、第2ゲームを始める。）

観客

- 1 試合はあくまでも選手自身のものである。従って関係役員以外の観客がラインコールとかスコアとか、試合中の行為に関して口出しすることは、規則に反することである。
- 2 両チーム（選手）のグッドショットに対して、拍手することは観客として礼儀正しいことである。
- 3 どんなエラーに対しても拍手することは観客としてスポーツマンシップに反することである。
- 4 試合会場での飲食・喫煙等には十分配慮すること。